

Recruit Works Institute

2015年12月17日

株式会社リクルートホールディングス

ワークス採用見通し調査 (新卒: 2017年卒)

株式会社リクルートホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：峰岸真澄）の人と組織に関する研究機関・リクルートワークス研究所では、民間企業における2016年度の採用の見通しに関する調査を行い、4,794社（回収率66.5%）より回答が得られましたので、ご報告いたします。

※本データは、民間企業における、2017年卒の新卒採用を対象としております。

来年度の新卒採用はさらに増加の見通し 製造業を中心に女性比率を高める予定

【2017年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）】

- ▶ 2017年卒対象の大学生・大学院生の新卒採用見通しは、「増える」が13.4%、「減る」が4.2%と、「増える」が「減る」を上回り(+9.2%ポイント)、大学生・大学院生の新卒採用における採用意欲が高かった2016年卒採用(+8.7%ポイント)よりも、採用意欲はさらに高くなる見通しである。（詳細は3ページ）
- ▶ 業種別に見ると、ほとんどの業種において「増える」が「減る」を上回っている。特に、「増える」が「減る」を大きく上回っているのは、飲食サービス業(+29.0%ポイント)、情報通信業(+15.1%ポイント)などである。（詳細は4ページ）

【採用見通しの経年比較】

- ▶ 過去の採用見通し調査の「増える一減る」のポイントを比較すると、大学生・大学院生の新卒採用見通しは6年連続プラスであり、ポイント数も増え続けている。（詳細は7ページ）

【2017年新卒採用の女性比率、初任給（大学生・大学院生）】

- ▶ 2017年卒の新卒採用において、女性比率を前年より高める企業は14.1%。特に、自動車・鉄道(28.0%)、機械・プラント・エンジニアリング(28.0%)などの製造業が積極的である。（詳細は8ページ）
- ▶ 2017年卒の新卒採用において、初任給を前年より高める企業は7.0%。特に、労働金庫・信用金庫・信用組合(13.4%)などの金融業において他の業種よりも高い。（詳細は9ページ）

【本件に関するお問い合わせ先】
<https://www.recruit.jp/support/form/>

【目次】

調査概要	2
2017年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）	3~4
従業員規模別	3
業種別	4
2017年卒者の新卒採用見通し（高校生）	5~6
従業員規模別	5
業種別	6
採用見通しの経年比較	7
2017年卒の新卒採用における女性採用（大学生・大学院生）	8
2017年卒の新卒採用における初任給（大学生・大学院生）	9
参考 地域別採用見通し	10

【調査概要】

調査目的：全国の民間企業を対象に、新卒・中途採用における求人動向を明らかにすること。

【2015年調査】

調査対象：従業員規模5人以上の全国の民間企業
7,210社

調査項目：2015年度の新卒・中途採用状況
2016年度の新卒・中途採用見通し

調査期間：2015年10月2日～11月2日

回収社数：4,794社（回収率66.5%）

回収方法：電話・FAXにて回収

（参考）

【2014年調査】

調査対象：従業員規模5人以上の全国の民間企業
6,882社

調査項目：2014年度の新卒・中途採用状況
2015年度の新卒・中途採用見通し

調査期間：2014年10月9日～11月7日

回収社数：4,618社（回収率67.1%）

回収方法：電話・FAXにて回収

《調査結果を見る際の注意点》

※%を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合があります
※業種別の表において、業種にその他の区分があるため、大分類の合計社数が回答社数と一致しません

—リクルートワークス研究所について—

リクルートワークス研究所は、1999年1月に設立された、株式会社リクルートホールディングスの中にある「人」と「組織」に関する研究部門。

＜設立目的＞

リクルートグループの中・長期人材ビジネスの基礎研究。「人材マネジメント」や「労働市場」における情報発信・提言活動の推進。

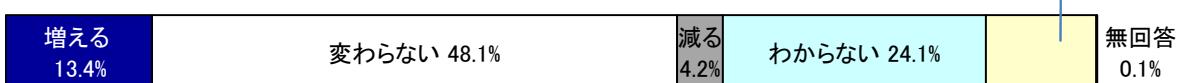
【2017年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）】

2017年卒対象の大学生・大学院生の新卒採用見通しは、「増える」（13.4%）が「減る」（4.2%）を上回っており（+9.2%ポイント）、2016年卒に引き続き、大学生・大学院生の新卒採用における採用意欲はさらに高くなる見通しである。

また、「わからない」が2016年卒の24.4%より微減の24.1%となっており、新卒採用市場は今後の景気動向に左右される可能性がある。

■2017年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）

以前も今後も採用しない 10.1%



<参考>2016年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）

以前も今後も採用しない 9.3%



【従業員規模別 2017年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）】

従業員規模別に見ると、従業員1000人未満企業、従業員1000人以上企業ともに、「増える」が「減る」を上回っている。

従業員規模別を細かく見てみると、従業員規模が大きくなるにつれて「増える」が上昇している。従業員5000人以上企業においては、「増える」が17.9%となっている。

どの従業員規模でも「増える」が「減る」を上回っている。「増えるー減る」のポイントが比較的に大きい従業員規模は、従業員2000～4999人企業（+12.5%ポイント）や、従業員5000人以上企業（+14.6%ポイント）などの大企業である。

■従業員規模別 2017年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増えるー減る
全 体	4794	13.4%	48.1%	4.2%	24.1%	10.1%	0.1%	+9.2
1000人未満	3478	12.2%	46.4%	4.4%	23.4%	13.5%	0.1%	+7.8
5～99人	985	7.5%	29.1%	2.6%	26.7%	34.0%	—	+4.9
100～299人	1082	13.3%	49.4%	5.2%	22.9%	9.1%	—	+8.1
300～999人	1411	14.7%	56.1%	5.0%	21.5%	2.6%	0.2%	+9.7
1000人以上	1316	16.5%	52.5%	3.7%	26.0%	1.1%	0.2%	+12.8
1000～1999人	570	16.1%	57.7%	4.2%	20.9%	1.1%	—	+11.9
2000～4999人	439	15.9%	48.3%	3.4%	30.5%	1.6%	0.2%	+12.5
5000人以上	307	17.9%	48.9%	3.3%	29.0%	0.3%	0.7%	+14.6

<参考> 従業員規模別 2016年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増えるー減る
1000人未満	3357	12.6%	44.5%	5.7%	24.6%	12.5%	0.1%	+6.9
1000人以上	1261	17.6%	52.9%	4.4%	24.1%	0.7%	0.3%	+13.2

【業種別 2017年卒者の新卒採用見通し(大学生・大学院生)】

業種別を大分類で見ると、ほとんどの業種において「増える」の方が「減る」を上回っている。

業種別を細かく見ると、飲食サービス業(32.9%)では3割強の企業が「増える」と回答している。また、「増えた」が「減った」を大きく上回っているのは、飲食サービス業(+29.0%ポイント)、情報通信業(+15.1%ポイント)、教育・学習支援(+14.1%ポイント)、半導体・電子・電気部品(+13.7%ポイント)などであり、人手不足が顕著な業種を中心に「増える」が「減る」を大きく上回っている。

■業種別 2017年卒者の新卒採用見通し(大学生・大学院生)

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える -減る
建設業	370	14.9%	47.8%	3.8%	19.5%	14.1%	-	+11.1
製造業	1667	10.9%	47.9%	4.5%	27.8%	8.8%	0.1%	+6.4
食品	221	11.3%	48.0%	3.2%	28.5%	9.0%	-	+8.1
化学・紙・石油	187	7.0%	52.4%	7.0%	28.3%	5.3%	-	0.0
医薬・化粧品	51	7.8%	31.4%	9.8%	43.1%	5.9%	2.0%	-2.0
鉄鋼・非鉄金属・金属	149	10.1%	44.3%	6.0%	27.5%	12.1%	-	+4.1
機械・プラント・エンジニアリング	182	11.5%	55.5%	5.5%	24.2%	3.3%	-	+6.0
※コンピュータ・通信機器・OA機器関連	42	14.3%	50.0%	7.1%	21.4%	7.1%	-	+7.2
半導体・電子・電気部品	88	18.2%	48.9%	4.5%	21.6%	6.8%	-	+13.7
自動車・鉄道	157	8.3%	52.2%	1.9%	32.5%	4.5%	0.6%	+6.4
精密機械器具	81	9.9%	55.6%	4.9%	19.8%	9.9%	-	+5.0
流通業	921	15.2%	50.2%	5.0%	21.4%	8.1%	0.1%	+10.2
卸売業	482	12.4%	52.3%	4.6%	23.4%	7.3%	-	+7.8
小売業	439	18.2%	47.8%	5.5%	19.1%	9.1%	0.2%	+12.7
金融業	344	12.5%	51.2%	1.5%	31.4%	3.5%	-	+11.0
銀行	63	11.1%	36.5%	-	52.4%	-	-	+11.1
※証券	37	16.2%	45.9%	2.7%	21.6%	13.5%	-	+13.5
労働金庫・信用金庫・信用組合	164	14.6%	59.8%	2.4%	23.2%	-	-	+12.2
サービス・情報業	1472	15.0%	46.2%	4.1%	21.1%	13.4%	0.2%	+10.9
情報通信業	346	17.1%	55.2%	2.0%	19.7%	6.1%	-	+15.1
運輸業	236	7.6%	48.7%	2.5%	22.0%	18.6%	0.4%	+5.1
不動産業	94	10.6%	52.1%	3.2%	20.2%	12.8%	1.1%	+7.4
飲食サービス業	76	32.9%	43.4%	3.9%	10.5%	9.2%	-	+29.0
教育・学習支援	71	19.7%	33.8%	5.6%	32.4%	8.5%	-	+14.1
医療・福祉	154	12.3%	40.3%	5.2%	21.4%	20.8%	-	+7.1
※電気・ガス・熱供給・水道業	43	14.0%	32.6%	2.3%	37.2%	14.0%	-	+11.7

注)業種内訳は、特徴的な業種の一部を抜粋

注)※が付いているものは、回答社数が少ないため、参考データとして参照

<参考>業種別 2016年卒者の新卒採用見通し(大学生・大学院生)

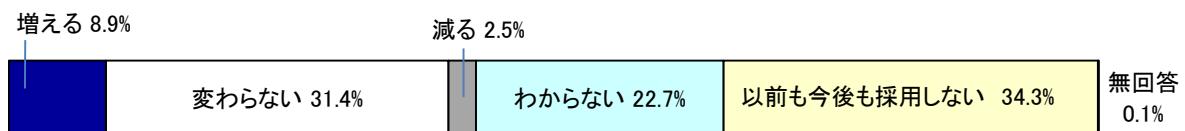
(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える -減る
建設業	325	19.4%	42.5%	4.6%	20.6%	12.6%	0.3%	+14.8
製造業	1649	11.8%	48.3%	5.6%	26.9%	7.3%	0.1%	+6.2
流通業	886	16.4%	48.1%	6.8%	21.2%	7.4%	0.1%	+9.6
金融業	346	13.3%	50.0%	5.2%	27.7%	3.8%	-	+8.1
サービス・情報業	1365	14.1%	44.5%	4.4%	23.4%	13.3%	0.4%	+9.7

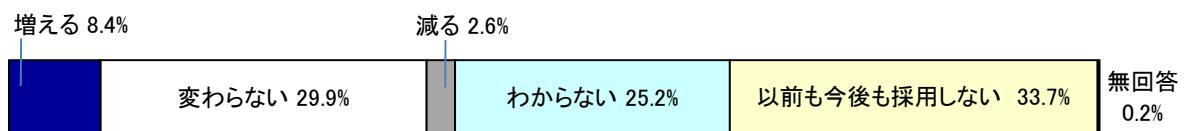
【2017年卒者の新卒採用見通し（高校生）】

2017年卒対象の高校生の新卒採用見通しは、「増える」（8.9%）が「減る」（2.5%）を上回っており（+6.4%ポイント）、2016年卒に続いて、「増える」が「減る」を上回っている。また、「以前も今後も採用しない」は34.3%と、2016年卒（33.7%）よりも微増となっている。

■2017年卒者の新卒採用見通し（高校生）



＜参考＞2016年卒者の新卒採用見通し（高校生）



【従業員規模別 2017年卒者の新卒採用見通し（高校生）】

従業員規模別に見ると、いずれの企業規模においても、「増える」が「減る」を上回っている。見通しが「わからない」企業は1000人未満企業において21.8%、1000人以上企業において25.2%となっており、高校生の新卒採用見通しも今後の景気動向に左右される可能性がある。

従業員規模別を細かく見てみると、すべての従業員規模において、「増える」が「減る」を上回っている。

■従業員規模別 2017年卒者の新卒採用見通し（高校生）

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増えるー減る
全 体	4794	8.9%	31.4%	2.5%	22.7%	34.3%	0.1%	+6.4
1000人未満	3478	8.2%	30.8%	3.0%	21.8%	36.1%	0.1%	+5.2
5～99人	985	7.7%	23.1%	2.3%	24.1%	42.7%	—	+5.4
100～299人	1082	7.4%	33.2%	4.0%	21.0%	34.5%	—	+3.4
300～999人	1411	9.2%	34.4%	2.8%	20.8%	32.6%	0.2%	+6.4
1000人以上	1316	10.7%	32.9%	1.3%	25.2%	29.7%	0.2%	+9.4
1000～1999人	570	10.2%	36.0%	1.4%	21.4%	31.1%	—	+8.8
2000～4999人	439	11.4%	31.2%	1.4%	27.6%	28.2%	0.2%	+10.0
5000人以上	307	10.7%	29.6%	1.0%	28.7%	29.3%	0.7%	+9.7

＜参考＞ 従業員規模別 2016年卒者の新卒採用見通し（高校生）

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増えるー減る
1000人未満	3357	7.7%	28.9%	3.0%	25.0%	35.3%	0.1%	+4.7
1000人以上	1261	10.4%	32.5%	1.6%	25.7%	29.4%	0.4%	+8.8

【業種別 2017年卒者の新卒採用見通し(高校生)】

業種別を大分類で見ると、前年同様、2017年卒者については、すべての業種で「増える」が「減る」を上回っている。

業種別を細かく見ると、「増える」が「減る」を上回っているのは、飲食サービス業 (+28.9%ポイント)、半導体・電子・電気部品 (+14.7%ポイント)、食品 (+12.7%ポイント) などである。

■ 業種別 2017年卒者の新卒採用見通し(高校生)

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える -減る
建設業	370	14.6%	33.2%	2.7%	25.1%	24.3%	-	+11.9
製造業	1667	9.6%	39.4%	3.2%	28.5%	19.2%	0.1%	+6.4
食品	221	14.5%	38.5%	1.8%	26.7%	18.6%	-	+12.7
化学・紙・石油	187	7.0%	48.7%	3.7%	29.9%	10.7%	-	+3.3
医薬・化粧品	51	2.0%	23.5%	2.0%	41.2%	29.4%	2.0%	0.0
鉄鋼・非鉄金属・金属	149	11.4%	38.3%	6.0%	29.5%	14.8%	-	+5.4
機械・プラント・エンジニアリング	182	10.4%	44.5%	4.9%	23.6%	16.5%	-	+5.5
※コンピュータ・通信機器・OA機器関連	42	4.8%	31.0%	4.8%	26.2%	33.3%	-	0.0
半導体・電子・電気部品	88	17.0%	20.5%	2.3%	28.4%	31.8%	-	+14.7
自動車・鉄道	157	5.1%	54.8%	1.9%	31.2%	6.4%	0.6%	+3.2
精密機械器具	81	7.4%	44.4%	2.5%	21.0%	24.7%	-	+4.9
流通業	921	7.7%	26.5%	2.3%	19.8%	43.6%	0.1%	+5.4
卸売業	482	4.1%	23.4%	1.9%	19.5%	51.0%	0.0%	+2.2
小売業	439	11.6%	29.8%	2.7%	20.0%	35.5%	0.2%	+8.9
金融業	344	3.5%	30.8%	0.9%	23.5%	41.3%	-	+2.6
銀行	63	6.3%	28.6%	-	41.3%	23.8%	-	+6.3
※証券	37	2.7%	21.6%	-	8.1%	67.6%	-	+2.7
労働金庫・信用金庫・信用組合	164	3.0%	43.3%	1.8%	22.6%	29.3%	-	+1.2
サービス・情報業	1472	8.8%	25.2%	2.4%	17.2%	46.3%	0.2%	+6.4
情報通信業	346	2.9%	14.7%	1.2%	11.8%	69.4%	-	+1.7
運輸業	236	8.5%	28.8%	3.4%	22.9%	36.0%	0.4%	+5.1
不動産業	94	1.1%	23.4%	1.1%	11.7%	61.7%	1.1%	0.0
飲食サービス業	76	28.9%	38.2%	-	11.8%	21.1%	-	+28.9
教育・学習支援	71	2.8%	5.6%	-	18.3%	73.2%	-	+2.8
医療・福祉	154	9.1%	37.0%	3.2%	17.5%	33.1%	-	+5.9
※電気・ガス・熱供給・水道業	43	9.3%	27.9%	4.7%	30.2%	27.9%	-	+4.6

注)業種内訳は、特徴的な業種の一部を抜粋

注)※が付いているものは、回答社数が少ないため、参考データとして参照

<参考>業種別 2016年卒者の新卒採用見通し(高校生)

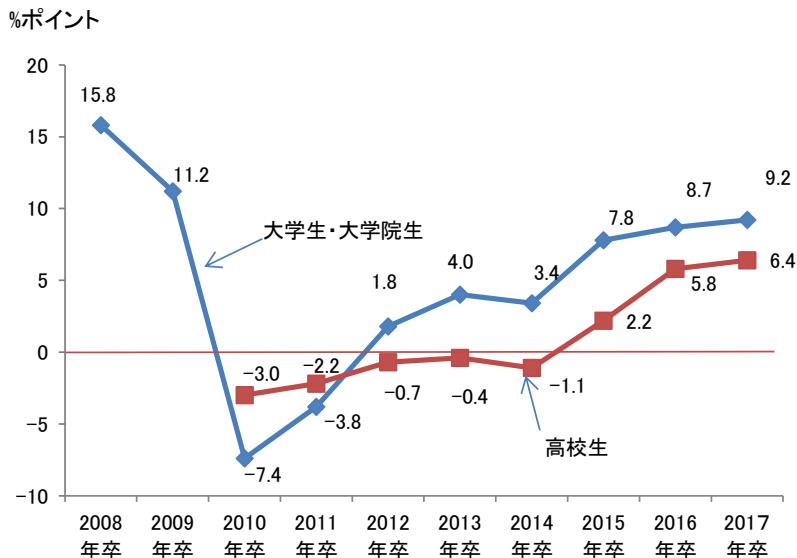
(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える -減る
建設業	325	11.7%	30.8%	3.4%	28.6%	25.2%	0.3%	+8.3
製造業	1649	8.5%	38.8%	3.5%	30.0%	19.2%	0.1%	+5.0
流通業	886	9.4%	22.3%	2.4%	21.9%	43.9%	0.1%	+7.0
金融業	346	4.3%	32.1%	2.0%	23.7%	37.6%	0.3%	+2.3
サービス・情報業	1365	8.1%	23.2%	1.8%	21.1%	45.6%	0.3%	+6.3

【採用見通しの経年比較】

大学生・大学院生の新卒採用見通しは、2012年卒以来6年連続「増える一減る」のポイントがプラスとなっている。高校生の新卒採用見通しは、2015年卒以来3年連続「増える一減る」のポイントがプラスとなっている。

■「増える一減る」のポイントの経年比較



□大学生・大学院生の新卒採用見通し

(%ポイント)

	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える一減る
2017年卒	13.4%	48.1%	4.2%	24.1%	10.1%	0.1%	+9.2
2016年卒	14.0%	46.8%	5.3%	24.4%	9.3%	0.2%	+8.7
2015年卒	13.3%	47.5%	5.5%	24.1%	9.5%	0.1%	+7.8
2014年卒	10.3%	47.6%	6.9%	25.8%	9.2%	0.2%	+3.4
2013年卒	10.4%	50.0%	6.4%	25.1%	7.9%	0.1%	+4.0
2012年卒	9.3%	47.1%	7.5%	28.6%	7.5%	0.1%	+1.8
2011年卒	5.5%	40.1%	9.3%	36.6%	8.3%	0.1%	-3.8
2010年卒	8.3%	50.6%	15.7%	25.1%	-	0.3%	-7.4
2009年卒	18.0%	54.9%	6.8%	19.9%	-	0.4%	+11.2
2008年卒	22.7%	46.4%	6.9%	21.4%	-	2.7%	+15.8

□高校生の新卒採用見通し

(%ポイント)

	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える一減る
2017年卒	8.9%	31.4%	2.5%	22.7%	34.3%	0.1%	+6.4
2016年卒	8.4%	29.9%	2.6%	25.2%	33.7%	0.2%	+5.8
2015年卒	5.8%	28.9%	3.6%	22.7%	38.9%	0.1%	+2.2
2014年卒	4.0%	28.1%	5.1%	24.6%	38.1%	0.2%	-1.1
2013年卒	3.2%	27.8%	3.6%	25.5%	39.7%	0.1%	-0.4
2012年卒	3.4%	26.7%	4.1%	28.2%	37.4%	0.2%	-0.7
2011年卒	3.1%	29.8%	5.3%	38.3%	23.3%	0.0%	-2.2
2010年卒	4.9%	62.0%	7.9%	24.6%	-	0.5%	-3.0

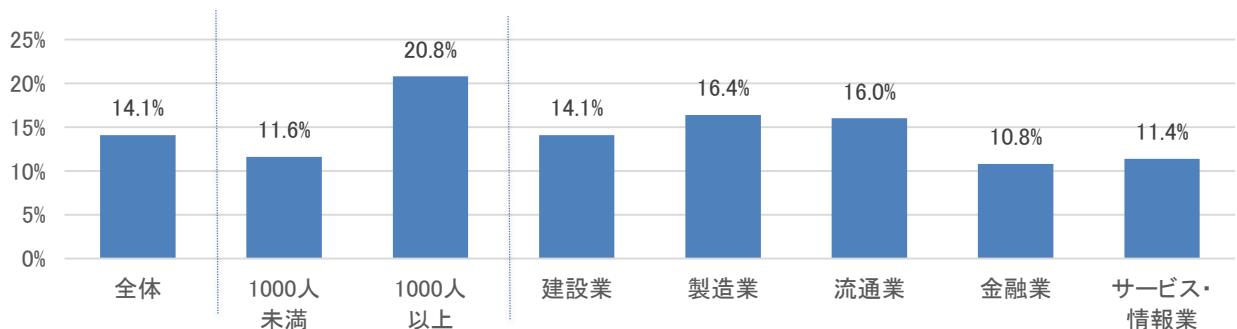
注)高卒の採用見通しは2010年卒より調査している

注)2010年卒(2009年度)以前は、採用の見通しを質問する際に、「以前も今後も採用しない」を選択肢に入れていたため、2011年卒(2010年度)以降と2010年卒(2009年度)以前は単純に比較できないが参考として記載

【2017年卒の新卒採用における女性採用（大学生・大学院生）】

2017年卒対象の新卒採用において、女性比率を前年より高める企業は14.1%となっている。従業員規模別に見ると、1000人以上企業において20.8%、1000人未満企業において11.6%となっている。業種別に見ると、製造業（16.4%）や流通業（16.0%）は、他の業種に比べて高く、詳細を見ると、証券（29.7%、回答社数が少なく参考値）、機械・プラント・エンジニアリング（28.0%）や自動車・鉄道（28.0%）などにおいて他の業種に比べて高くなっている。

■2017年卒の新卒採用において女性比率を前年より高める企業割合(大学生・大学院生)



		社数	女性比率を前年より高める企業割合
全 体		4794	14.1%
従業員規模別	1000人未満	3478	11.6%
	5～99人	985	4.7%
	100～299人	1082	9.0%
	300～999人	1411	18.5%
	1000人以上	1316	20.8%
	1000～1999人	570	20.5%
	2000～4999人	439	23.0%
	5000人以上	307	18.2%
業種別	建設業	370	14.1%
	製造業	1667	16.4%
	食品	221	7.2%
	化学・紙・石油	187	14.4%
	医薬・化粧品	51	5.9%
	鉄鋼・非鉄金属・金属	149	19.5%
	機械・プラント・エンジニアリング	182	28.0%
	※コンピュータ・通信機器・OA機器関連	42	11.9%
	半導体・電子・電気部品	88	19.3%
	自動車・鉄道	157	28.0%
	精密機械器具	81	14.8%

		社数	女性比率を 前年より高める 企業割合
業種別	流通業	921	16.0%
	卸売業	482	15.4%
	小売業	439	16.6%
	金融業	344	10.8%
	銀行	63	9.5%
	※証券	37	29.7%
	労働金庫・信用金庫・信用組合	164	6.7%
	サービス・情報業	1472	11.4%
	情報通信業	346	19.1%
	運輸業	236	8.9%
不動産業		94	8.5%
飲食サービス業		76	18.4%
教育・学習支援		71	8.5%
医療・福祉		154	4.5%
※電気・ガス・熱供給・水道業		43	4.7%

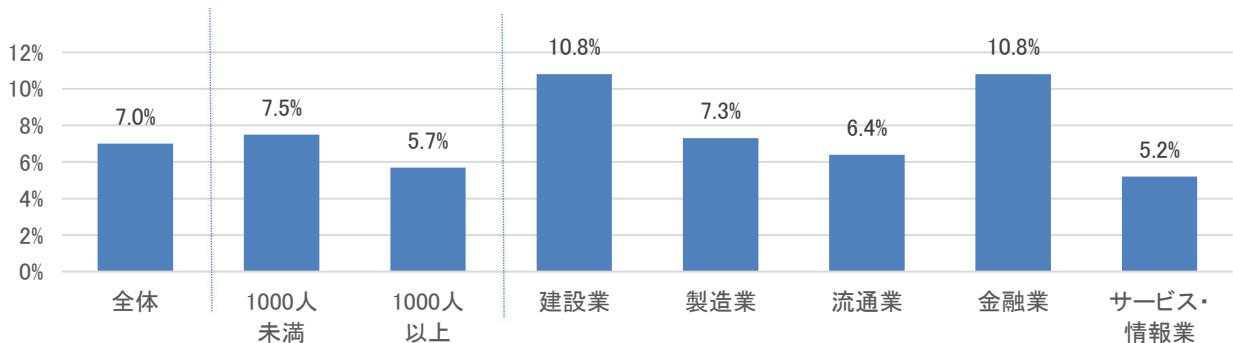
注)業種内訳は、特徴的な業種の一部を抜粋

注)※が付いているものは、回答社数が少ないため、参考データとして参照

【2017年卒の新卒採用における初任給（大学生・大学院生）】

2017年卒対象の新卒採用において、初任給を前年より高める企業は7.0%となっている。従業員規模別に見ると、1000人以上企業において5.7%、1000人未満企業において7.5%となっている。業種別に見ると、建設業（10.8%）や金融業（10.8%）は、他の業種に比べて高く、詳細を見ると、証券（18.9%、回答社数が少なく参考値）、労働金庫・信用金庫・信用組合（13.4%）などにおいて他の業種に比べて高くなっている。

■2017年卒の新卒採用において初任給を前年より高める企業割合（大学生・大学院生）



	社数	初任給を前年より高める企業割合
全 体	4794	7.0%
従業員規模別	1000人未満	3478
	5～99人	985
	100～299人	1082
	300～999人	1411
	1000人以上	1316
	1000～1999人	570
	2000～4999人	439
	5000人以上	307
業種別	建設業	370
	製造業	1667
	食品	221
	化学・紙・石油	187
	医薬・化粧品	51
	鉄鋼・非鉄金属・金属	149
	機械・プラント・エンジニアリング	182
	※コンピュータ・通信機器・OA機器関連	42
	半導体・電子・電気部品	88
	自動車・鉄道	157
	精密機械器具	81

	社数	初任給を前年より高める企業割合
業種別	流通業	921
	卸売業	482
	小売業	439
業種別	金融業	344
	銀行	63
	※証券	37
業種別	労働金庫・信用金庫・信用組合	164
	サービス・情報業	1472
	情報通信業	346
業種別	運輸業	236
	不動産業	94
	飲食サービス業	76
	教育・学習支援	71
	医療・福祉	154
	※電気・ガス・熱供給・水道業	43
	運輸業	3.0%
	不動産業	2.1%
	飲食サービス業	2.6%
	教育・学習支援	2.8%

注)業種内訳は、特徴的な業種の一部を抜粋

注)※が付いているものは、回答社数が少ないと想定して参考データとして参照

参考【地域別 採用見通し】

■地域別 2017年卒者の新卒採用見通し(大学生・大学院生)

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える一減る
全体	4794	13.4%	48.1%	4.2%	24.1%	10.1%	0.1%	+9.2
北海道	190	11.1%	38.9%	4.7%	27.4%	17.9%	-	+6.4
東北	223	13.9%	41.3%	4.5%	23.8%	16.6%	-	+9.4
関東	2105	13.9%	51.2%	3.4%	22.0%	9.2%	0.3%	+10.5
中部	812	14.9%	47.4%	6.0%	22.9%	8.7%	-	+8.9
近畿	757	12.7%	48.0%	4.5%	27.6%	7.3%	-	+8.2
中国・四国	411	12.7%	44.8%	4.1%	26.8%	11.7%	-	+8.6
九州	296	9.5%	43.6%	3.4%	28.4%	15.2%	-	+6.1

■地域別 2017年卒者の新卒採用見通し(高校生)

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える一減る
全体	4794	8.9%	31.4%	2.5%	22.7%	34.3%	0.1%	+6.4
北海道	190	10.0%	30.0%	4.7%	25.8%	29.5%	-	+5.3
東北	223	15.2%	35.4%	3.1%	24.7%	21.5%	-	+12.1
関東	2105	7.5%	27.2%	1.9%	19.9%	43.3%	0.3%	+5.6
中部	812	11.1%	37.9%	3.7%	22.9%	24.4%	-	+7.4
近畿	757	7.0%	32.1%	1.8%	25.8%	33.3%	-	+5.2
中国・四国	411	10.5%	38.2%	3.6%	23.8%	23.8%	-	+6.9
九州	296	10.5%	29.7%	2.4%	29.7%	27.7%	-	+8.1

注)地域は本社所在地の都道府県を示しており、地域区分は下記の通り

北海道:北海道

東北:青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県

関東:茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部:山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県、静岡県、愛知県、岐阜県

近畿:三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山县

中国・四国:鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州:福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県